

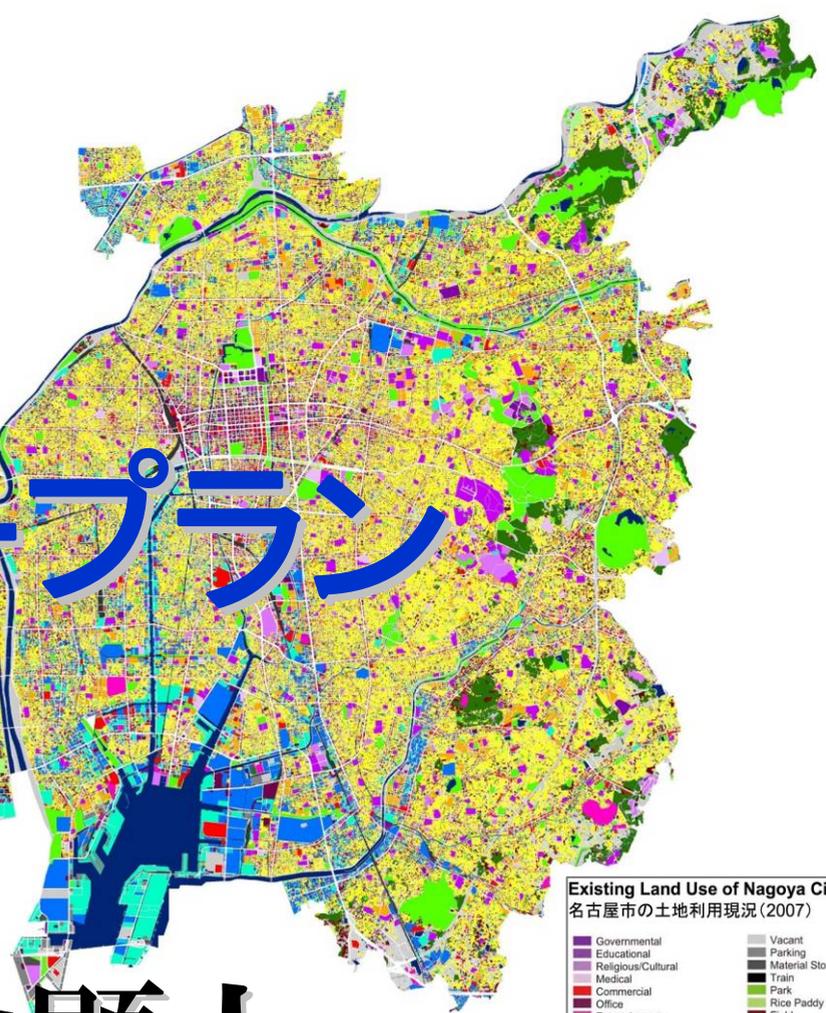
第62回名古屋大学防災アカデミー

都市の マスタープラン と防災



村山 顕人

名古屋大学大学院環境学研究科准教授



Existing Land Use of Nagoya City
名古屋市の土地利用現況(2007)

Governmental	Vacant
Educational	Parking
Religious/Cultural	Material Storage
Medical	Train
Commercial	Park
Office	Rice Paddy
Entertainment	Field
Utilities/Transportation	Forest
Industrial Service	Water
Industrial	
Low-Rise Residential	
Low-Rise Residential w/Shop	
Mid/High-Rise Residential	
Mid/High-Rise Residential w/Shop	

Created using Nagoya City Urban Planning Basic Survey Data
名古屋都市計画基礎調査のデータを利用して作成

平成22年9月24日(金)18:00~19:30 環境総合館レクチャーホール

現在の日本の都市には、一般的に、公共交通機関をはじめとする都市基盤が整備され、災害危険度の低い都市の適切な場所に都市の諸機能を誘導し、多様性を持つ魅力的都市空間を創出・維持する一方、都市基盤密度が低い地域では自然環境や農地を積極的に保全・復元するものが求められている。こうした都市計画の基本的方針を定めるのが自治体が策定する都市マスタープランである。『防災』は都市マスタープランでどのように取り扱われているのか？防災を意識した都市計画を展開するための課題とは…？